



政務活動費収支報告書

令和 3年 3月 15日

伊豆市長、 菊地 豊 様

会 派 名 IZU未来
代表者氏名 三田忠男



伊豆市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条第1項の規定に基づき、
年度分の政務活動費に係る収支状況を次のとおり報告します。

- | | |
|-----------|----------------------------|
| 1 交 付 額 | 825,000 円 |
| 2 支 出 額 | 419,049 円 |
| 3 収支差引額 | 405,951 円 |
| 4 経理責任者氏名 | |
| 5 経費の支出明細 | 令和2年度分政務活動費収支決算書 (別添) のとおり |
| 6 事業の成果 | |

コロナ禍のため、思うように勉強ができず、不安を抱える
新人議員の教育の為の研修ができたこと

別添 (様式第8号関係)

令和2年度分政務活動費収支決算書

収入

区 分	金 額
交 付 額	825,000円

支出

区 分	金 額
1 調査研究費	円
2 研修費	304,604円
3 資料作成費	110円
4 資料購入費	114,335円
5 要請・陳情活動費	円
6 会議費	円
7 広報費	円
8 広聴費	円
9 事務費	円
10 人件費	円
計	419,049円

令和2年度 IZU未来 政務活動費会計帳簿 (収入計 825,000)



No	日付	1.調査研究費	2.研修費	3.資料作成費	4.資料購入費	6.会議費	残 額	備 考
	12月24日						825,000	R2後期期首残高
10	12月9日			110			824,890	会議資料コピー代
11	12月24日				25,055		799,835	Dファイル購読料
12	12月24日				5,225		794,610	ガバナンス購読料
13	12月24日				38,500		756,110	日経グローカル購読料
14	1月28日				20,185		735,925	三田 朝日購読料
15	1月17日				8,250		727,675	三田 福祉新聞
16	3月15日				17,120		710,555	黒須 日経・読売
17	3月8日		304,604				405,951	研修会
							405,951	
							405,951	
							405,951	
							405,951	
		0	304,604	110	114,335	0	405,951	

(支出計 419,049)

様式第9号 (第6条関係)


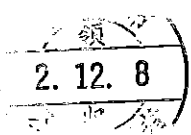
支 払 伝 票

令和2年12月 8日

会 派 名	IZU未来	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額	¥110円				
支 出 科 目	摘 要				
1	調 査 研 究 費	・会派会議資料 コピー代			
2	研 修 費				
3	資 料 作 成 費				
4	資 料 購 入 費				
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費				
6	会 議 費				
7	広 報 費				
8	広 聴 費				
9	事 務 費				
10	人 件 費				
支 出 先	伊豆市				
支 出 年 月 日	令和2年12月 8日	支払番号	10		
特 記 事 項					

領収書は裏面添付



納入通知書兼領収書

納入者	住所 氏名 IZU 未来 様																														
令和 平成 2 年度	会計名	一般会計																													
主管課	議会事務局	No.																													
収入 科目	款 20	項 4	目 6	節 1	細節 1																										
金額				7	110																										
<p>ただし</p> <p style="text-align: center;">印刷およびコピー代</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p style="text-align: center;">A4 11枚</p> <p>上記の金額を平成 年 月 日 までに納めてください。</p> <p>平成 2 年 11 月 26 日 令和 静岡県伊豆市長</p> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  </div> <p>納付場所</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">スルガ銀行</td> <td style="width: 50%;">伊豆の国農協</td> </tr> <tr> <td>静岡銀行</td> <td>みずほ銀行</td> </tr> <tr> <td>静岡中央銀行</td> <td>静岡県労働金庫</td> </tr> <tr> <td>三島信用金庫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>静岡県信用漁業協同組合連合会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>伊豆市会計課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中伊豆支所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天城湯ヶ島支所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土肥支所</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20px;">伊</td> <td style="width: 20px;">中</td> <td style="width: 20px;">天</td> <td style="width: 20px;">土</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						スルガ銀行	伊豆の国農協	静岡銀行	みずほ銀行	静岡中央銀行	静岡県労働金庫	三島信用金庫		静岡県信用漁業協同組合連合会		伊豆市会計課		中伊豆支所		天城湯ヶ島支所		土肥支所		伊	中	天	土				
スルガ銀行	伊豆の国農協																														
静岡銀行	みずほ銀行																														
静岡中央銀行	静岡県労働金庫																														
三島信用金庫																															
静岡県信用漁業協同組合連合会																															
伊豆市会計課																															
中伊豆支所																															
天城湯ヶ島支所																															
土肥支所																															
伊	中	天	土																												
上記の金額を領収しました 伊豆市金融機関 伊豆市出納員			領収印 																												

納入者用

支 払 伝 票

令和2年 12月 24日

会 派 名	IZU未来	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額	¥25,055円				
支 出 科 目	摘 要				
1	調 査 研 究 費	<ul style="list-style-type: none"> ・D-file 購読料 ・令和2年11月分から、令和3年3月分まで (Beacon 2冊込) ・年間購読料60,000円ー前期分34,945円=25,055円 			
2	研 修 費				
3	資 料 作 成 費				
4	資 料 購 入 費				
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費				
6	会 議 費				
7	広 報 費				
8	広 聴 費				
9	事 務 費				
10	人 件 費				
支 出 先	イマジン出版 株式会社				
支 出 年 月 日	令和2年 12月 24日	支払番号	11		
特 記 事 項					

領収書は裏面添付

領収証

IZU未来

様

(5)

金額

¥60,000

但自治体情報誌ディーファイル (2020年4月発行号~2021年3月発行号) 誌代として

2020年4月22日 上記正に領収いたしました

内 訳

消費税額等(%)

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

イマジン出版株式会社

代表取締役 片岡幸三

1冊のご利用につき100円です。

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

御見積書

2020年03月05日

頁 1

No. 35211

小長谷 順二様

10959

下記の通り御見積り申し上げます。

¥60,000



イマジン出版株式会社

代表取締役 片岡幸三

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

TEL 03-3842-2520

FAX 03-3842-2623

(5)

行	商 品 名	部 数	定 価	合計金額
1	D-file 2020年4月発行号(3月号) 上・下	2	2,475	4,950
2	D-file 2020年5月発行号(4月号) 上・下	2	2,475	4,950
3	D-file 2020年6月発行号(5月号) 上・下	2	2,475	4,950
4	D-file 2020年7月発行号(6月号) 上・下	2	2,475	4,950
5	D-file 2020年8月発行号(7月号) 上・下	2	2,475	4,950
6	D-file 2020年9月発行号(8月号) 合本	1	3,080	3,080
7	D-file 2020年10月発行号(9月号) 上・下	2	2,475	4,950
8	D-file 2020年11月発行号(10月号) 上・下	2	2,475	4,950
9	D-file 2020年12月発行号(11月号) 上・下	2	2,475	4,950
10	D-file 2021年1月発行号(12月号) 上・下	2	2,475	4,950
11	D-file 2021年2月発行号(1月号) 合本	1	3,080	3,080
12	D-file 2021年3月発行号(2月号) 上・下	2	2,475	4,950
13	Beacon Vol.82(夏号),Vol.83(秋号),Vol.84(冬号),Vol.85(春号)	4	1,100	4,400
14	年間購読割引			-60
15				
摘要	合計	26		60,000

2200 (夏刊)
2200 (冬刊)

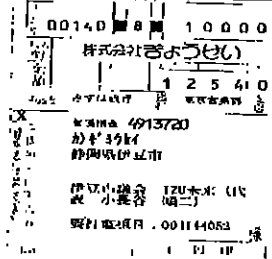
支 払 伝 票

令和2年 12月 24日 ✓

会 派 名	IZU未来	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額	¥5,225円 /				
支 出 科 目	摘 目 要				
1	調 査 研 究 費	<ul style="list-style-type: none"> ・月刊「ガバナンス」購読料 ・令和2年11月分から令和3年3月分までの5ヵ月分 ・$12,540円 \div 12ヵ月 \times 5ヵ月分 = 5,225円$ 			
2	研 修 費				
3	資 料 作 成 費				
4	資 料 購 入 費				
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費				
6	会 議 費				
7	広 報 費				
8	広 聴 費				
9	事 務 費				
10	人 件 費				
支 出 先	株式会社 ぎょうせい				
支 出 年 月 日	令和2年 12月 24日 /	支払番号	12 /		
特 記 事 項					

領収書は裏面添付

ご利用明細票 (6)

お取扱日	店番	取扱番号
02-04-22	23085	A93150004
取扱店	ナカイス	
払込口座	00140-8	10000
払込金額	*12,540	料金 *0
		振替受付票 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行)
入金額	*12,540	
おつり	*0	
4月からATMの電信振替料金は、1件のご利用につき100円です。		

印紙税申告納付につき麹町税務署承認済

請求書

伊豆市議会 IZU未来
(代表 小長谷 順二)

様 令和 2年 4月 1日

東京都江東区新木場1丁目18番11号 (〒136-8575)

株式会社きょう

代表取締役 社長 成吉



金額には消費税及び地方消費税が含まれております。(10%) 下記のとおりご請求いたします。(0450-0067150)

ご請求額	¥12,540.-	お得意様No (請求No)	50-0878348 004144052
------	-----------	---------------	-------------------------

お支払は 令和 2年 5月 31日までにお願いします。

品名	追録号数	数量	単価	金額	備考
月刊「カバナンス」 2020年 4月号~2021年 3月号	購読料	1	12540	12540	

(振込先) みずほ銀行東京営業部 (001) N 01200038546
 普通預金 4913720 カキョウセイ (1081)
 (要打電項目) 004144052 イスシキカイイスミライ

様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

令和2年 12月 24日

会 派 名	IZU未来	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額	¥38,500円				
支 出 科 目	摘 要				
1	調 査 研 究 費	<ul style="list-style-type: none"> ・日経グローバル 購読料 ・令和2年11月分から令和3年3月分までの5か月分 ・$92,400円 \div 12カ月 \times 5か月分 = 38,500円$ 			
2	研 修 費				
3	資 料 作 成 費				
4	資 料 購 入 費				
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費				
6	会 議 費				
7	広 報 費				
8	広 聴 費				
9	事 務 費				
10	人 件 費				
支 出 先	株式会社 日経BPマーケティング				
支 出 年 月 日	令和2年 12月 24日	支払番号	13		
特 記 事 項					

領収書は裏面添付

(78)

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
02-05-27	23085	A93140003
取扱店	ナカイス	
払込口座	00140-3	901469
払込金額	*92,400	料金 *285
振替受付票		
払込みの証拠となるものは、こちら大切に保存して下さい。料金には、消費税等が含まれていません。(ゆうちょ銀行)		
00140 901469		
株式会社 日本FPマーケティング		
〒117-8528 東京都目黒区		
1-17-20000001		
入金額 *92,700		
おつり *15		
スマホ決済アプリ ゆうちょよPay		
口座の残高確認も可能です！		

印紙税申告納付につき廻町税務署承認済

No. _____

領 収 証

IZU未来 様

¥ 20,185

収 入
印 紙

但し ²⁰²⁰11月~²⁰²¹3月分新聞代 /

上記金額 (消費税を含む) 正に領収致しました

2021年 1月28日

〒410-2407 静岡県伊豆市柏久保308-15

朝 日
静 岡
サンケイ


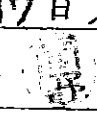
(有)トガワ新聞店

TEL (0558) 72-0170
FAX (0558) 72-6931



支 払 伝 票

令和3年11月17日

会 派 名		IZU未来	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額		¥8,250円				
支 出 科 目		摘 要				
1	調 査 研 究 費	購入目的 一般質問、所管事務調査等の議員・議会活動の充実強化のため福祉分野等の専門的知見、世界・国内外の動向や、新たな法律、各県条例等の新規動向を得ていくために購入する。 購入資料 「週間福祉新聞」 株式会社福祉新聞社(東京都千代田区霞が関3-3-1、電話03-3581-0431) 資料金額 一か月1,650円×5か月(11月~翌年3月分)=8,250円 支払い 郵便振り込みにて				
2	研 修 費					
3	資 料 作 成 費					
④	資 料 購 入 費					
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費					
6	会 議 費					
7	広 報 費					
8	広 聴 費					
9	事 務 費					
10	人 件 費					
支 出 先		株式会社福祉新聞社(東京都千代田区霞が関3-3-1)				
支 出 年 月 日		令和 2年11月17日	支払番号	15		
特 記 事 項		前5期議会からの継続購入 保管は、委員会室においてあります。他の会派、他の議員利用可能です。				

領収書は裏面添付

〒410-2502
伊豆市上白岩590

請求書

証No.:106265

2

発行日: 年 月 日

IZU未来
三田忠男 様
購読者番号: 2201076

株式会社 福祉新聞社
代表取締役社長 松本 誠
〒100-0013
東京都千代田区麹町1-1-1
尚友会館1階
TEL: 03-3681-0431
03-3681-0433

取引銀行
みずほ銀行 虎ノ門支店 当座0108594
三井住友銀行 霞が関支店 普通6574950
郵便振替口座 00140-2-71762

いつも福祉新聞のご愛読ありがとうございます。
下記のとおりご請求いたします。

御請求金額(税込) ¥8,250

品名	購読期間	部数	月数	単価	金額
福祉新聞	2020年11月分～ 2021年03月分迄	1	5	1,650	¥8,250
(うち消費税)					¥750
合計					¥8,250



題名 払込票兼受領証 加入者負担 00160-4-900496		株式会社 福祉新聞社 〒 百 十 万 千 百 十 四 8250	
伊豆市上白岩590 IZU未来三田忠男様		購読者番号: 2201076	
受付局印 02-11-17 中伊豆郵便局 (23085) N94280002		郵便番号	

切り取らないでください。発行しお返しください。

様式第9号 (第6条関係)

支 払 伝 票

令和 3年 3月 15日

会 派 名	I Z U未来	代表者印		經理責任者印	
支 出 金 額	¥17,120				
支 出 科 目	摘 要				
1	調 査 研 究 費	<ul style="list-style-type: none"> ・第一紙 静岡新聞 ・読売新聞 購読料 令和3年2月分 3800円 ・日本経済新聞 購読料 令和2年11月分から令和3年1月分まで3ヶ月 4,400×3ヶ月=13,320 			
2	研 修 費				
3	資 料 作 成 費				
④	資 料 購 入 費				
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費				
6	会 議 費				
7	広 報 費				
8	広 聴 費				
9	事 務 費				
10	人 件 費				
支 出 先	有限会社 佐藤新聞店				
支 出 年 月 日	令和 3年 3月 15日	支払番号	16		
特 記 事 項					

領収書は裏面添付

領収証
黒須 淳美 様

柏久保 1336-2

2020年11月分
(395) 60.50集金
お問合せNo. 8940
(8% 4,440円)
(10% 0円)

銘柄 (*は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*日本経済新聞朝刊	1	4,440	

合計金額
4,440円

毎度ご購入有難うございます。
上記の金額正に領収しました。

伊豆市瓜生野609
有限会社 佐藤新聞店
代表取締役 榑子 敬美
TEL 0558-73-104
〒411-0130 伊豆市瓜生野609
年 月 日

2020.11.24

領収証
黒須 淳美 様

柏久保 1336-2

2020年12月分
(395) 60.50集金
お問合せNo. 8940
(8% 4,440円)
(10% 0円)

銘柄 (*は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*日本経済新聞朝刊	1	4,440	

合計金額
4,440円

毎度ご購入有難うございます。
上記の金額正に領収しました。

今年もご愛顧いただき有難うございます
来年もよろしくお願ひします。

伊豆市瓜生野609
有限会社 佐藤新聞店
代表取締役 榑子 敬美
TEL 0558-73-1041
〒411-0130 伊豆市瓜生野609
年 月 日

領収証
黒須 淳美 様

柏久保 1336-2

2021年 1月分
(395) 60.50集金
お問合せNo. 8940
(8% 4,440円)
(10% 0円)

銘柄 (*は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*日本経済新聞朝刊	1	4,440	

合計金額
4,440円

毎度ご購入有難うございます。
上記の金額正に領収しました。

伊豆市瓜生野609
有限会社 佐藤新聞店
代表取締役 榑子 敬美
TEL 0558-73-1041
〒411-0130 伊豆市瓜生野609
年 月 日

領収証
黒須 淳美 様

柏久保 1336-2

2021年 2月分
(395) 60.50集金
お問合せNo. 8940
(8% 3,800円)
(10% 0円)

銘柄 (*は軽減税率対象)	部数	金額	備考
*読売新聞朝刊	1	3,800	



合計金額
3,800円

毎度ご購入有難うございます。
上記の金額正に領収しました。

伊豆市瓜生野609
有限会社 佐藤新聞店
代表取締役 榑子 敬美
TEL 0558-73-1041
〒411-0130 伊豆市瓜生野609
年 月 日

支 払 伝 票

令和 3年 3月 8日

会 派 名	I Z U未来	代表者印		経理責任者印	
支 出 金 額	¥304,604 ✓				
支 出 科 目	摘 目 要				
1	調 査 研 究 費	令和3年2月15日 地方議会総合研究所「江藤俊昭」さんを講師に迎え、講義 (その他、別紙の通り)			
2	研 修 費				
3	資 料 作 成 費				
4	資 料 購 入 費				
5	要 請 ・ 陳 情 活 動 費				
6	会 議 費				
7	広 報 費				
8	広 聴 費				
9	事 務 費				
10	人 件 費				
支 出 先	みずほ銀行				
支 出 年 月 日	令和 3年 3月 8日	支払番号	17		
特 記 事 項	<p>コロナ禍のため、研修会への参加ができないため、講師をむかえ、議会運営「議会の基本である役割や権限、運営の基本的事項」「一般質問の留意点」、そして「予算議会を控えての当初予算の着眼点・留意点」等、議員力向上に向けての研修</p>				

領収書は裏面添付

令和3年2月15日研修会費負担のお願い

IZU 未来 様

IZU 未来 代表 三田 忠男

令和3年2月15日に開催しました伊豆市議会の各会派（無会派議員も含む）合同による議員研修会に係る費用について決定しました。講師料等の費用は、IZU 未来が代表して支払いを行いますので、下記の清算内容をご確認いただき貴会派の負担分をIZU 未来の会計（間野みどり）までお届け願います。

なお、支払終了後に各領収書の写しを配布いたします。

記

1 IZU 未来負担分

304,604円 ✓

426,444円 - (60,920円 + 30,460円 + 30,460円)

費用合計 伊豆クラブ 杉山武司 小川多美子

2 研修会費用

支払先	金額	内容
㈸地方議会総合研究所	422,594円 ✓	講師謝礼（2講座）334,112円 ✓ 交通費（甲府⇄修善寺）15,140円 ✓ 派遣手数料（10%）34,925円 ✓ 消費税（10%）38,417円 ✓
伊豆の国農協	770円	振込手数料（地方議会総合研究所への）
キッチン エピセン	800円	講師昼食（税込み）
東京ラスク伊豆店	2,160円 ✓	講師みやげ（税込み）
日本郵便㈸	120円	通信費
合計	426,444円	

参加議員一人当たりの費用

426,444円 ÷ 14人 = 30,460円

領収書 綴り

(株)地方議会総合研究所支払い ￥422,594 振込手数料 ￥770 (振込)

振込金受取書(兼手数料受取書)

2021年 3月 15日

現金

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。

振込先 JAバンク	農協 信連 銀行	信金 信組 協	支店(所)	金額	十億	百万	千	円
お振込先 貯金種目 1:普通 2:当座 4:貯蓄 9:その他	口座番号 1311916111	現金類 未決済小切手 枚						
お受取人 フリガナ 株式会社 地方議会総合研究所 様	おなまえ 株式会社 地方議会総合研究所 様	貯金振替			起算日・指定日 月 日			
ご依頼人 フリガナ 伊藤 正博 様	おなまえ 伊藤 正博 様	手数料徴収区分 1:即時 2:後納 9:不要			手数料(税込) 770円			
お住所 〒110-0910 東京都千代田区千代田 1-1-1	お電話番号 03-5561-1111							

○お振込金額のうち決済未確認の小切手は、上記のとおりですが、万一不渡りとなったときは、この振込を取り消し、小切手は、権利保全の手続をしないで本店において返却します。

- 振込先金融機関へは、お受取人名のほか貯金種目・口座番号を通知します。お受取人名はカナ文字により送信します。
- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のため振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- 通信機器、回線の障害等やむを得ない事由によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- この振込金受取書(兼手数料受取書)は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。
- 振込ができない場合は、この手数料のほか、別途手数料がかかる場合がありますのでご了承ください。

取扱店



JAバンク

振込番号 ZJS-KW0111 3.3 2019.11 2020.08 +

キッチンエビセン 講師昼食 ￥800

領収証

No. 0137
2021年 2月15日

IZU 米 研修 様

金800円 但し

上記正に領収いたしました
(税抜金額) ￥741
(消費税等) ￥59



キッチンエビセン
静岡県伊豆市青野町188
TEL: 0558-99-9902



講師お礼状

¥ 2160

通信費

¥ (20)

領収書

様

[証紙切手引受]	
第一種定形外(規格内)	47.5g
@120 1通	¥120

小計 ¥120

郵便物引受合計通数	1通
課税計(10%)	¥120
(内消費税等)	¥10)
非課税計	¥0

合計	¥120
お預り金額	¥127
おつり	¥7



〒100-8792 日本郵便株式会社
 東京都千代田区大手町2-3-1
 取扱日時: 2021年 2月12日 8:56
 担当: 望月 恵美子
 発行No. 210212A1687 端P22箱02
 連絡先: 静岡中央郵便局
 TEL: 0570-038-808

IZU未来研究所様

領収証

(金額) ¥2,160-

No. 2076
2021/02/12

上記、正に領収致しました。
但し 電子代(領収対象)
保管する場合は、印刷面を内側に折りましたんで下さい

として



東京ラスク 伊豆店
静岡県伊豆市市上550 TEL 0558-85-0232

現金決済

#0020-01

バーコード# 17342



レシート# 17342 1名
 店舗# 20 端末# 1
 2021/02/12(金) 11:15
 扱者# スタッフ

※東京ラスクコレクション21枚入	¥2,160
小計	¥2,160
合計(1点)	¥2,160
お預り	¥10,000
お約	¥7,840

(内税 3(8%) 対象額¥2,000 ¥160)

※印は軽減税率(8%)適用商品です

調査研究等報告書

令和 3年 4月14日

実施日時	令和 3年 2月15日 (月) 10時00分～ 14時00分
参加者氏名	浅田藤二 鈴木優治 飯田大 黒須淳美 下山祥二 杉山誠 間野みどり 波多野靖明 小長谷順二 三田忠男
用務先	伊豆市役所中伊豆支所3階会議室
対応者 (研修先講師等)	江藤俊昭 (地方議会総合研究所：山梨学院大学法学部教授)
目的・内容	<p>目的として、議会基本条例第7条議員研修及び調査研究を踏まえて、伊豆市議会の活性化・議員力の向上を図るため、企画した。</p> <p>内容として、新人議員等1～2期議員が中心のため、新人議員研修を意識して、午前中90分は、研修Ⅰとして「議会改革の到達点と議会運営・再興—機関としての議会運営の模索—」</p> <p>午後90分は、研修Ⅱとして「住民自治の根幹」としての議会の作動—「本丸」にかかわる手法、そしてその条件整備—</p>
成果・所感	<p>コロナ禍で、東京以外の講師を招聘し、感染に努めて、他の会派にも呼び掛け14名で聴講した。他用で聴講できない2名にも資料を配布し、今後の議会運営の共通認識を図れるよう努めた。</p> <p>また、他会派への呼びかけや、出張でなく講師招聘により、政務活動費の効率的な支払い、コロナ禍でも調査研究等開催できた。</p> <p>今回、全員に報告をお願いし、今後の意思疎通を図る足掛かりとした。</p> <p>今回の研修では、議員というより、議会としての行動が問われ、議会の存在価値を議員自らが肝に銘じて、住民とかかわりを持つ必要性を再確認させられた。</p> <p>議員成り手不足、議員報酬、議員定数、議会運営、一般質問、議案審査、広報、議会事務局、図書等の課題対応は、議員の視点でなく、住民自治の本旨から、住民の視点を強く意識して意図的に取り組むことの大切さを学び直し、議員活動の基準とする。</p> <p>議会サイクルを意識、所管事務調査の重要性を再確認した。</p>

調査研究等報告書

令和3年4月11日

実施日時	令和3年2月15日(月) 10時 00分 ~ 14時00分
参加者氏名	間野みどり
用務先	伊豆市役所中伊豆支所3階会議室
対応者 (研修先講師等)	地方議会総合研究所・江藤俊昭講師
目的・内容	<p>目的は議会基本条例を踏まえて、伊豆市議会の活性化、議員の向上を図るための勉強。</p> <p>内容の前半は議会の基本である役割や権限・運営の基本事項現状課題等、また、議員力向上の一般質問の留意点や議案質疑の視点。後半は予算議会を控えての当初予算の審査の着眼点等。</p>
成果・所感	<ul style="list-style-type: none"> ・議会改革においては、 <ul style="list-style-type: none"> ・右往左往している議会はその存在が疑われる。 ・報酬削減の否定はしないが何もしないで削減だけでは、議会不要論につながる。 と鋭い指摘もあり考えさせられた。 ・議会改革の本道は住民と共に住民福祉の向上に貢献する議会の創造等であるという部分が参考になる。 ・一般質問の所では、ストーリーを構想必プレゼンテーションの手法を活用すると部分が印象に残った。 ・前半もそうだが、岡山総社市、松坂市、大津市その他の議会の動向を提示してくれ、それぞれに問題を抱え運営されていると認識し、今後それらを参考に勉強を深めたいと思った。

議員研修報告書

令和3年2月15日

於 中伊豆支所3階

講師 山梨学院大学法学部 教授 江藤俊昭 氏

研修1 議会改革の到達点と議会運営・再考

－機関としての議会運営の模索－

*地方議会をめぐる2つ(+1)の危機と打開の視点

- ① 新型コロナをめぐる危機→議会改革の成熟度が試される。
 - ・必要緊急として動くこと。
 - ・危機を冷静に！「議会からの政策サイクルの作動」
 - ・緊急時に住民と歩む議会のバージョンアップ
- ② 議員のなり手不足→議会・議員の向上：住民の信頼度を高める。
 - ・住民の福祉の向上につなげること
 - ・報酬をあげるなどの条件整備
- ③ 首長主導型民主主義の台頭→議員内閣制とは異なる：二元的代表制を作動させる。
 - ・議員内閣制とは異なる地方自治

*議会改革の現在

- ①議会改革の本史：議会基本条例に刻印
 - ・閉鎖的ではなく、住民と歩む議会
 - ・質問の場だけでなく議員間討議を重視、
 - ・追認機関ではなく首長と政策競争する議会
- ②住民自治の根幹としての議会
 - ・地域経営にとって重要な議会

総合計画・都市計画に基づいた質問を心がける

研修2 「住民自治の根幹」としての議会の作動

－「本丸」にかかわる手法、そしてその条件整備－

*もう一步：議会改革の本史の第2ステージ：議会からの政策サイクル

① 形式とともに内容を：住民福祉の向上に連動させる

- ・住民と歩む議会等の新たな議会運営 → 見える化、住民との多くの接点
- ・住民の福祉向上につなげる。 → 住民の信頼づくりへ

② 議会からの政策サイクルの発見

- ・住民との意見交換会での意見をもとに政策提言
- ・議会による行政評価から決算審議・予算要望・予算審議

③ 議会からの政策サイクルの展開

多様な展開

- ・決算・予算・総合計画における準備会設置と論点整理
- ・4年以上を意識した多層なサイクル
- ・ミッション・ロードマップ
- ・質問(マニフェスト)を全体のものに

展開の要素

- ・目標設定と成果(通年、通任期、それ以上)
- ・住民を意識(議会内外の住民参加)
- ・多様な対象：財政、条例、総合計画、決議・意見書・要望書

④ 議会からの政策サイクルの特徴

－「議会からの」を考える(総合性、包括性ではない)－

- ・住民目線 ⇄ 執行の論理
- ・合議体 ⇄ 執行の縦割り行政
- ・少ない資源 ⇄ 執行の豊富な資源(財政・人事)→総合計画、「隙間(ニッチ政策)」

⑤ 本丸にかかわる議会・議員

- ・議会からの政策財務
- ・議会からの総合計画
- ・議員による政策財務の勘所 → 視点 道具

⑥ 条件整備

基本視点

- ・行政改革の論理(効率性重視)と議会改革の論理(地域民主主義の実現)は異なる
- ・議会改革の本史への突入を意識する(住民自治の根幹としての議会)

⑦ 新たな課題：議論を巻き起こす：首長とともに

- ・ビフォー・コロナではなく、新たな地域社会を！
 - a. 東京一極集中への疑問
 - b. 地産地消への注目
 - c. 自治体職員・医療関係者の削減
 - d. 格差の拡大

まとめ

自治体(首長)と議会の役割を常に意識する



国政とは異なる二元代表制 → ともに住民から選ばれる

執行機関とは違う視点で住民ニーズをとらえる



責任の重さは同じ

住民との意見交換は、地域課題の発見の場



住民意見を踏まえ、議会として市の政策・施策のあるべき姿をゼロベースで考える



そもそも住民の福祉向上のためにはと考える

以上のとおり、報告します。

令和3年4月13日

浅田 藤二

研修報告書

鈴木優治

2021年2月15日に受けた議員研修につき報告致します。江藤山梨学院大学江藤教授の講義に参加いたしました。

【研修1】議会改革の到着点と議会運営・再考

*新型コロナをめぐる危機＝議会改革の成熟度が試される

“今日現在に合った題材の中で議員の在り方を問われたと感じました、特に一般質問の在り方：市民の議員に対する評価としての位置付けがあり議員個人が目立つための場になっているが如何なものか？を問われた感を持ちました、確かに市民目線の中には一般質問をしない事は議員の職務を果たしていないかのような評価もあり、議員も議会だよりのための物になりつつある現状を注意すべきである、議会改革は地域民主主義の実現であり、住民自治を充実させるための条件として議論しなければならない。議員自身の意識改革はもちろん市民に対しても自治を語り創り出す契機にすべき時である事を承知させられた。

*議員のなり手不足危機＝議会・議員の向上：住民の信頼度を高める

“なりて不足の要因の集約の必要性、解消の方途を探る事の必要性、二点の必要性をたどり「ならない」と「なれない」を念頭におけば、議会改革の本

道である議会を作動させる、それを「住民福祉の向上」につなげ、議会・

議員の魅力を向上させ地域力アップの可能性を広げるそして住民の信頼を勝

ち取り、これらの活動によって議会改革を進める法改正を可能とする。

* 首長主導型民主主義の台頭の危機 == 二元的代表制を作動させる

“チーム議会の必要性、絶対的に正しい議案はない、議決権限、説明責任を

つねに理解しながら議会運営に務める姿勢を見せ再考に進むこと。

※ 報告書になっておりませんが一年生議員として研修会に出させて頂き判らな

い事ばかりで、勉強会としての研修でしたが大変役立つ情報を教えて頂き以降

の議員生活の糧となる研修となりました。

議会の運営は議員同士や、議員と首長が、そして住民も参加して、討議する空

間にするべく自助努力をしていきたいと思ひます。

間	の	流	れ	に	つ	い	て	一	で	あ	り	、	事	例	を	取	り	入	れ
た	内	容	は	分	か	り	や	す	く	丁	寧	な	解	説	で	新	人	議	員
の	私	に	と	つ	て	も	理	解	す	る	こ	と	が	で	き	ま	し	た	。
こ	の	後 ^修 修 ^不 後	修	会	で	学	ん	だ	こ	と	は								
○	喫	緊	の	課	題	で	あ	る	新	型	コ	ロ	ナ	ウ	イ	ル	ス	感	染
症	に	対	す	る	地	方	議	会	で	の	打	開	点	や	視	点	を	見	出
す	。																		
○	日	常	的	に	住	民	と	の	関	わ	り	方	を	見	出	し	て	い	く
○	市	民	の	信	頼	度	を	高	め	る	こ	と	が	必	要	で	あ	る	。
○	議	会	・	議	員	の	質	の	向	上	を	高	め	る	。				
講	演	を	通	し	て	、	今	後	は	市	民	が	お	か	れ	て	い	る	状
況	を	業	早	く	正	確	に	把	握	し	、	意	思	決	定	機	関	の	一
員	で	あ	る	と	共	に	、	市	民	の	奉	仕	者	と	し	て	の	職	責
を	果	し	て	い	き	た	い	と	考	え	ま	す	。						

江藤俊昭山梨学院大学教授による研修の報告書

黒須淳美

初めての議員研修に臨むにあたり講師の江藤先生の著書の内容などを調べることから始めてみましたが耳慣れない言葉が多く、結果として意味調べに時間を取られ未消化のままの参加となってしまいました。

そんな中でも午前中の【研修1】からは「地方議会をめぐる危機と打開の視点」や「質疑・質問の充実強化」の項で、基本的なことですが①議会と住民の関わりとしてのあるべき姿について ②自分の中で未だあやふやだった「質疑・質問」の意味や取り組み方について、など後からレジュメを見直してみても分かりやすく記述されていると感じ大変参考になりました。

午後の【研修2】「住民自治の根幹」として望まれる議会の動き方など大きな視点が必要な内容で難しく感じましたが「住民と歩む議会」「住民と多くの接点を持つ」などの言葉はすんなりと響きました。

今メンバーとなって関わっている各委員会などで課題として取り上げられていることとも関連がありこれからの活動で生かしてけるようにしたいと思いました。

最後にコロナ禍を経験した私たちは、これからの地方自治について今までのやり方を見直す時期でもあるのかもしれない。

この研修で「新シビル・ミニマム」「議会BCP」「議会からの政策サイクルの作動」など初めて知ったことばかりですが、これからの地域社会を考えていく上で(中央集権化ではなく)、議会も一体となって住民も巻き込むような活動を考えることも必要なのではと思いました。

貴重な研修をありがとうございました。

令和3年2月15日開催 伊豆市議会研修報告書

令和3年4月13日

下山 祥二

【研修1】 議会改革の到達点と議会運営・再考

【研修2】 「住民自治の根幹」としての議会の作動

2点に絞って報告します。

- ・ 一点目は、コロナ禍により、期せずして議会改革の成熟度が試され、伊豆市議会の現状と課題もあぶり出され、他の自治体議会の議会運営に比し、さらなる議会改革を進めていくべきであると強く感じた。

具体的には一般質問の立ち位置、各議員のパフォーマンスに終始することなく、質問の反省会実施は必須であり、必要と判断したものについては議会がまとまり大きな力となって政策提言していくべきと聞き、全くその通りであると感じました。

そのためには議会運営委員会で十分協議し柔軟な対応により、各議員ごとの一般質問の反省会は実施すべきであると考えます。

- ・ もう一点は、制定された条例について、その後のチェックができているかという指摘について、すべての条例チェックは難しいので時限立法にしていくべきであるという講師の意見に気付かされ、伊豆市議会でも検討し採用すべき課題であると考えます。

地方議会をめぐる 2 つの危機と打開の視点から、一つ目の危機として新型コロナをめぐる危機について話され、いま、議会改革の熟成度が試されるとき、として先進議会を例に議会機能を発揮するために必要な要件を伺った。

今までどんな議論をしてきたかもしっかり検証し、質問を組み立てることが大切と感じた。また、報酬削減は議会不要論にもつながるとも。

二つ目の危機として議員のなり手不足問題について、議会・議員の向上が住民の信頼度を高めることについては、当然のことであり、しっかりとした活動を住民に「見える化」することで、報酬を上げることに理解を得ることができると思う。

【研修 2】住民自治の根幹としての議会の作動では、飯田市が行った総合計画を議決事項とし、決算と連動させることを例に、地方財政を把握するための決算の重要性、決算をしっかりとやるのが今後の財政運営に関わることを教わった。

議員個々の活動には限界があるが、議会事務局の体制強化や議員図書館の充実など、議会としての機能を強化することが、議会・議員に対する住民の理解を得ることにつながると思う。このほか研修ではコロナ禍に対応した議会の在り方や、議会報告会についてはテーマを決めて意見交換すること、また議場で市民と意見交換できるようにすることなど、今までと違った議会の動きについても学ばせていただいた。

波多野 靖明

「議会の危機と打開の視点」での研修で、私は議員のなり手不足を解決することが以前にも増して必要だと強く思いました。

また、昨今は議員のなり手不足が全国的な課題であると新聞や他メディアで目にする機会が多くなったと感じています。

今回の研修で、特に地方議会では、議員報酬を上げる代わりに定数削減を取り入れる事が目立つようになり、特に報酬の低さ、定数減による当選ラインの上昇が、出馬への意欲や、当選後の生活不安の不釣り合いが感じられると思うことが議員のなり手不足に拍車を掛けていると以前よりも明確に感じられました。

特に子育て世代の市民からの立候補は難しい状況になっていると考えます。

議員の兼業禁止、兼職禁止は法律改正の必要性もあると以前から話題になっている事は新聞等で知っていましたが、なり手不足の解消には、伊豆市議会は何について踏み込んでいく必要があるのか、議員と市民の信頼度を増す事も含めて、今後も議論をしていきたいと考えます。

今回の研修はコロナ禍においてズームではなく、感染者の少ない山梨県から江藤先生を招き生の声で議会運営をテーマに研修を行いました。

2期目以上の議員は政務活動費を活用し東京等で年に数回研修を受けていましたが、新人議員はコロナ禍で東京等での研修にも参加できないために全議員を対象に行いました。

【地方議会をめぐる2つの危機と打開の視点】の①は、新型コロナをめぐる危機として従来の議会運営が問われた点です。

災害等の危機を冷静に捉え、議会からの政策サイクルを作動し、議会BCPで危機に対応し冷静に住民と歩む議会のバージョンアップが求められています。

当市においても平成22年に策定した伊豆市議会地震等災害対策支援本部、昨年策定した伊豆市新型コロナウイルス感染症対策支援本部の機能の充実を図るために「伊豆市議会BCP」の策定に向け、議会運営委員会でBCP検討小委員会を立ち上げ動き出しています。

BCPを策定し緊急時にも右往左往する事なくしっかりとした議会運営が出来るように取り組んでいきます。

【地方議会をめぐる2つの危機と打開の視点】の②は、議員のなりて不足→議会・議員の向上：住民の信頼を高める事です。

なりて不足の要因は合併等で広域になり議員の活動が見えない事による魅力の減退、定数減により当選ラインの上昇や報酬の低さ、高齢化、自営業・農家の変化や地域力の減退による立候補者予備軍の衰退、法制度の拘束が挙げられています。これらの要因を念頭におけば、議会改革の本道である議会基本条例に刻まれた議会を作動させる、それを「住民の福祉向上」につなげることでより議会・議員に魅力を向上させることがなりて不足解消の起点となります。そのことで地域力アップの可能性を広げ、それらによって住民の信頼を勝ち取り、それが議員報酬の増額等の条件整備につながる。との事でした。現在、議会改革推進特別委員会で議員報酬について協議を進めているので参考にさせていただきます。

今回の研修で【質疑・質問の充実強化】について根本的なお話がありましたが、議員自らの思いや持論を述べるだけでなく「伊豆市総合計画」に基づき質問することにより、より明確に行政や市民に届くことを学びました。

コロナが収束したら改めて東京等で全国の議員と共に学び、議論を交わし刺激を受け、伊豆市に持ち帰り市民の福祉向上に役立つ議員活動、議会運営に努めていく勇気を頂いた研修になりました。